もしもの災害に備えて ～家庭でできる水への備え～

大規模な自然災害が発生した場合、断水する場合があります。不測の事態を想定し、ご家庭でできる備えをしておきましょう。

●飲料水の備蓄

人間の水の摂取量は、１日３ℓ必要とされています。断水が解消するまで３日間かかることを想定し、１人あたり９ℓの飲料水を用意しておきましょう。

ご家庭で備えておきたい飲料水の量は

3リットル × 家族の人数 × 3日分

1人3日分の飲料水は9ℓ

500㎖ペットボトルで 1人 18本分 必要です。

とまチョップ水など、長期保存できるペットボトルなどに入ったものが便利です。

●給水容器の準備

災害などにより断水が発生した場合には、応急給水拠点に給水所を開設します。

もしもの時に備え、各ご家庭で給水用の容器を準備しておきましょう。

●応急給水拠点はこちら

災害時に給水所を設ける応急給水拠点は、市内２２箇所にあります。お近くの拠点を確認しておきましょう。

①樽前小学校
②錦岡小学校
③凌雲中学校
④澄川小学校
⑤泉野小学校
⑥日新小学校
⑦糸井小学校
⑧北星小学校
⑨豊川小学校
⑩北光小学校
⑪清水小学校
⑫美園小学校
⑬日の出公園
⑭西小学校
⑮若草小学校
⑯東小学校
⑰明野小学校
⑱拓勇小学校
⑲沼ノ端小学校
⑳勇払中学校
㉑ウトナイ小学校
㉒植苗小中学校

●停電に備えて

一部のアパート、マンション、テナントビルで、停電時に断水になることがあります。停電時に水が使えるか、管理会社に確認しておきましょう。

●生活用水の準備

飲料水の他にも、トイレなどに使用する生活用水が必要になります。お風呂の水はすぐに捨てずに、溜めておくなどして、もしもの時に備えましょう。

⚠災害時はデマ情報にご注意！

大きな災害が起きると、ＳＮＳ上でニセ情報やデマ情報が広まりやすくなります。信頼できる防災アカウントを日ごろからフォローするなどして、いざという時に役立てましょう。

苫小牧市公式LINE

苫小牧市総合防災サイト

たいせつな下水道

街を清潔にする　街を浸水から守る　身近な環境を守る

普段は目にすることのない下水道。でも下水道は見えないところで私たちの安全・安心で、快適な生活を支えています。

●下水道の正しい使い方

下水道には、流しては困るものがたくさんあります。排水管や下水道管を壊してしまったり、詰まらせてしまうこともあるので気を付けて利用しましょう。

●油類を流さない

排水管に油を流すと、油が冷えて固まってしまい排水管が詰まってしまいます。料理で使った油は新聞紙や古い布で吸い取り、燃やせるゴミへ。

●野菜クズや食べ残しを流さない

野菜クズや食べ残しを流すと、排水管が詰まる原因になります。水気をよく切って燃えるゴミか生ゴミとして出すようにしましょう。

●ビニール片や割り箸･つまようじを流さない

排水管の中に引っかかり、詰まりの原因になります。これらはゴミとして捨てましょう。

●薬品類を流さない

薬品類を下水道に流すと、排水管が変形したり溶けたりして水漏れの原因になります。廃棄方法を確認し、適切な方法で処分してください。

●髪の毛を流さない

髪の毛を流すと排水管のつなぎ目に引っかかったり、他の汚物と絡まったりして、詰まりやすくなります。排水口に目皿を設置し、髪の毛を流さないようにしましょう。

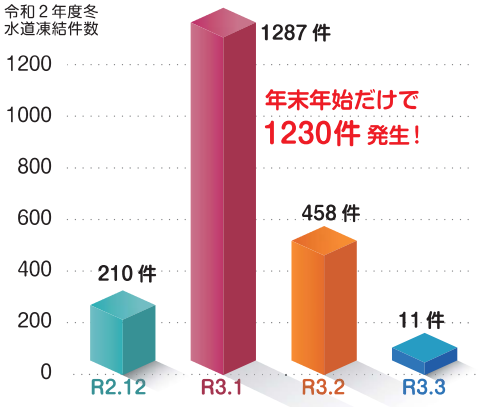
●熱湯を流さない

排水管には、高熱に弱い材質が使われている場合があるので、熱湯を流すと管が変形する場合があります。熱湯は冷ましてから流しましょう。

●落ち葉やごみを捨てない

雨水が流れる排水溝などに、落ち葉やごみを捨てると、雨水が流れにくくなります。大雨の時には、排水溝などから、雨水が溢れてしまう危険性があるので、落ち葉やごみは排水溝などには捨てないようにしましょう。

水道凍結にご注意を!!



年末年始の10日ほどで前年ひと冬の２倍を超える凍結件数となりました。

令和元年度冬は全部で 511 件

苫小牧市上下水道部では、寒気が入る日にLINEで情報を通知しております。

＼友達追加で／ スマホで今すぐ登録

確かな情報をキャッチしよう！

⚠凍結しやすい危険ポイント

- ✕ 洗濯機用の蛇口のある部屋
- ✕ お風呂場
- ✕ ボイラーやお湯が通る配管
- ✕ 建物の２階以上の部屋
- ✕ １階が車庫、物置、空き家になっている建物

対策

夜間や外出時に水抜きをしましょう。

●凍結しちゃった!!どうしよう?

●持ち家・自己所有物件の場合

ご自身で水道修理業者に依頼

●賃貸アパート・公営住宅・借家の場合

管理会社、管理人、大家さんに相談

水道修理の依頼は
苫小牧市指定の水道修理業者へ

P7 の水道修理業者の一覧をご覧ください。